

完全裏ワザ

今すぐSEXの予定があるあなたでも

10分挿入時間 を伸ばせる方法

今日の夜に彼女が来るのですが…
明日あの子とセックスできるかもしれないんだど…

■著作権について

「【完全裏ワザ】今すぐSEXの予定があるあなたでも10分挿入時間を伸ばせる方法。」(以下、本商品とする)は、著作権法で保護されている著作物です。本商品の著作権は、株式会社ライブクリエイションにあります。書面による事前許可なく、本商品の一部、または全部をインターネット上に公開、転売、配布を禁じます。本商材をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

■使用許諾証明書

本契約は、本商材を購入した法人・個人(以下、甲とする)と株式会社ライブクリエイション(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本商材を甲が受けとることにより、甲はこの契約は成立します。

■第1条(目的)

本契約は、本商材に含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

■第2条(第三者への公開禁止)

本商材に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本商材の内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報等を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

■第3条(契約解除)

甲が本契約に違反した場合、乙はいつでもこの使用許諾契約を解除することができるものとします。

■第4条(損害賠償)

甲が本契約の第2条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と販売価格を乗じた価格の20倍の金額を支払うものとします。

■第5条(免責事項)

本商材に沿って実行し、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

はじめに

ご覧いただき誠にありがとうございます。近藤宗助です。

こちらの特典、

『【完全裏ワザ】今すぐSEXの予定があるあなたでも10分挿入時間を伸ばせる方法。』

に関しましては、わたくし近藤がお伝えしていきたいと思います。

販売ページでもお伝えしましたように、この方法は「根本的な改善」にはなりません。あくまで目先の問題を乗り切る為のノウハウです。

- ・ 今夜、彼女が家に来るので何とかならないか？
- ・ 週末、もしかするとセックスにまで発展するかもしれないんだけど・・・

こういったシチュエーションでも、何とか乗り切るためのノウハウと思って頂ければと思います。

この点をキチンと理解した上で、正しくご活用下さい。

それでは本編をご覧下さい。

本当に急なシチュエーション・・・・・・。

「今夜のセックスを何とかしたい！」

こんな場面では、なかなか準備をしている時間も、トレーニングを行なっている時間ありません。

そんな時に、なんとかその場を切りける為のノウハウをお伝えします。

言ってみれば、トレーニング等ではどうしようもないシチュエーションですので、このような急なタイミングでも効果を得るには「道具」に頼る他ありません。

では、こういった道具が早漏対策になるのか？

僕は販売ページでもお話ししたように、色々な早漏対策を行って来ましたが、
その中で最も効果があったのは「早漏防止スプレー」です。

早漏防止スプレーは色々な種類がありますが、その効果は基本的に同じ効果を狙っています。

その効果・・・

それは「麻痺」です。

早漏防止スプレーは、麻酔薬と同じような成分で出来ており、スプレーをペニスに噴射することで麻痺させることができます。

つまりは「快感を感じ無い」訳です。

ペニスを挿入しても、「ちゃんと入ってる？」って心配になるくらい、ほとんど何も感じません。

それゆえ「イキにくい」というワケです。

しかし、ここでいくつか問題が出てきます。

- ・ 早漏防止スプレーって今すぐ手に入るの？
- ・ そんなのつけてて女性にバレない？
- ・ どういうタイミングでつければいいのか？

ハイ。当然の疑問です。

その点をクリアして頂くためのノウハウが、このノウハウの醍醐味です。

それでは1つ1つクリアしていきましょう。

早漏防止スプレーって今すぐ手に入るの？

結論から先にお伝えすると、『NO』です。

早漏防止スプレーが近くのアダルトショップで売っていれば話は別ですが、アダルトショップでそういったモノは買い辛いですし、そもそも売っていない場合が多いです。

そんな時に役立つのが「薬局」です。

薬局に売っている「傷薬」

これが早漏防止スプレーと同じ役目を果たしてくれます。

『マキロン』に代表される傷薬の多くは、麻痺成分を含んでいますので、早漏防止スプレーの替りになるんですね。

早漏防止スプレーが手軽に手に入るようであれば問題ありませんが、手に入りづらい場合は、マキロンなどで代用しましょう。

逆にマキロンなどであれば、いつでも簡単に手に入りますし、自宅に置いてあっても何ら不自然ではありませんので、最初からマキロンなどで対応するのも1つの手段だと思います。

ただし、問題としては、マキロンの場合は「流れ落ちやすい」ので、ティッシュに染み込ませて、しばらくペニスに巻いておくなどしておかないと、その効果は薄くなってしまいます。

その点だけご注意下さい。

そんなのつけてて女性にバレない？

こちらも結論から。

答えは「バレる」です。

早漏防止スプレーにしろマキロンにしろ、女性がフェラチオを行った際には舌が痺れますので、一発でバレます。
不自然にフェラチを断るなどしなければいけませんので、かなりの注意が必要です。

更に言えば、生での挿入もバレます。思いつきり。

女性器がシビれてバレルわけですが、普段からコンドームを着けている人ならまだしも、基本的に生挿入の場合は、その日だけコンドームを着けるわけにもいきません。

ではどうすればいいのか？

その答えは簡単で、「お風呂で流す」です。

ハイ。非常に簡単ですね。

ただ、お風呂で流すと、その効果は長続きしません。

そこで、最初の段階で「若干多めにつけておく」という事が必要になります。

早漏防止スプレーにしろマキロンにしろ、多くつけ過ぎると「起たなくなる」という欠点がありますが、それを覚悟で多めにつけて、セックス前にお風呂にはいることで調整するわけです。

どういうタイミングでつければいいの？

はい。先ほど「先に多くつけてお風呂で流す」とお話ししました。

ここからお分かり頂けるように、セックスの途中で早漏防止スプレーやマキロンを持ち出して、女性の目の前でつけるような事はしません。

そんな事をしているのは、女性に「何してるの？」と、質問を浴びせかけられるのは目に見えています。

あくまで女性にバレないように、挿入時間を伸ばすことが目的ですので、女性の目の前でつけるような野暮な事はしてはいけません。

では、こういったタイミングでつければいいのか？

答えは簡単で、**お風呂に入る30分前です。**

例えば・・・ですが、彼女が家に来ていて、今夜は泊まることが決定している。

夜、良い時間帯に「映画を観よう」と持ちかけます。

その際、事前に早漏防止スプレーやマキロンをポケットなどに忍ばせておきます。

その後、映画の残り時間が30分くらいになった時にトイレに行きます。

※ 映画の時間は事前に調べておきましょう。

トイレでコッソリ早漏防止スプレーやマキロンをつけます。

その際、スプレーをふる場合は、トイレを流すなど音を立てておいた方が無難です。

その後は、何気ない顔して映画の続きを観ます。これは当然。

で、イイ具合に痺れてきた頃に映画が終わります。

後は、「よかったね〜」などと言いながら、「お風呂に入ろっか？」と誘うか、「俺お風呂入りたいんだけど？」と持ちかけます。

その際、女性が一緒に入ることを拒否し、自分も入りたいと主張した場合は、先に女性を入れさせます。

女性がお風呂に入っている間、再度、早漏防止スプレーやマキロンをつけて、痺れが取れないように調整します。

で、あなたがお風呂に入った時は、しっかり石鹸やボディソープでペニスを洗い、早漏防止スプレーやマキロンを落とします。

映画を観るタイミングも狙っているので、お風呂からあがればもう寝るしかありませんよね？

後は痺れが続いている内にセックスを開始して、挿入するだけです。

そうすればかなり持ちがよくなっているはずです。

シチュエーション的に、自宅ではなくホテルだったとしても、基本的な流れは変わりません。

映画が最も調整しやすいですが、映画に持ち込めなかった場合などは、普通にトイレにはいるフリして仕込むだけ。

後は会話の中でうまく調整しながら、お風呂へ行くタイミングを調整してください。

まとめ

それでは最後にまとめをしておきましょう。

1. 事前に早漏防止スプレーを購入するか、マキロンなどの傷薬を購入しておく。
2. セックスの予定があるときに、スプレーやマキロンを事前に準備しておく。
3. そろそろセックスに発展しそうだな？と感じた頃に、トイレでコッソリスプレーやマキロンをつけて準備しておく。その際、スプレーを使う場合は水を流して音に注意する。
4. スプレーなどをつけてから30分以上は放置する。
5. それとなくお風呂に誘い、そこでしっかりペニスを洗う。
6. お風呂からあがれば、出来るだけ早くにセックスに持ち込む
7. 挿入してもいつもより数倍長くもつようになっている。

以上です。

このノウハウがあなたのお役に立てば幸いです。

近藤宗助

support@tabuchiryu.com